

みたか環境ひろば 第48号

平成 26 年 7 月 7 日号



エコミュージカルとエコイベントを6月15日（日）に実施しました（三鷹市公会堂にて）

エコミュージカルコンサート ブレーメンの音楽会～みんなでecoしてごちそうさん～とエコイベントが6月15日三鷹市公会堂にて開催され、満席に近い来場者をお迎えすることができました。今回のイベントは、食べ物を大切にすることは、地球を大切にすることというテーマにしています。

来場者には、幼稚園・保育園児のお子さんが多く、この年齢から環境について学ぶことで、心のすみに残り、日常生活に活かしながら成長することで、環境行動につながり、その結果、社会は大きく変わることができるのではないかと思います。まずは、市民一人ひとりが日々の生活の中で折に触れて、普段の行動を見直していけば環境はとも良い方向に進んでいきます。私たち「みたか環境活動推進会議」もこれで満足することなく、環境について考えるきっかけとなることを願い、これからも様々な取り組みを行っていきます。（森）



★舞台上で一緒に演奏する子どもたち★

■エコミュージカル

今回のエコミュージカルコンサートは、昨年引き続き「ブレーメンの音楽隊」の役立たずと言われた動物たちが登場しました。そこにとうもろこしの精「もろこっしー」が現れ、もったいないの心、地産地消、食の大切さなどを子どもたちにわかりやすく教えてくれました。

特に地産地消の話では、近くでとれた野菜を買えば野菜を運搬するときのエネルギーが少なく、結果CO₂の削減になり地球温暖化を防ぐということを楽しく学ぶことができました。CO₂という言葉は、小さい子どもたちにとっては少しわかりづらいことだけれど、それが記憶の片隅に残り、いつか大人になって地球環境の問題を考えてくれればと願います。また、今までなにげなく軒先販売で買っていた三鷹産野菜がCO₂削減に貢献しているなんて新たな発見です。これから三鷹産野菜を買う時は、自分も少しはCO₂削減に貢献しているなと思えるのは素敵ですね。今まで意識していなかったことを気づかせてくれ、子供から大人まで楽しく環境について学べたエコミュージカルコンサートでした。（岡村）



★ エコミュージカルコンサート ★

■エコイベント

昨年に引き続き、本年もエコミュージカル開場前に、ロビーでは様々なエコイベントが開催されました。「三鷹産農産物の直販マップ配布」コーナーでは、準備していた300部のマップが全て配布され、「エコ楽器ワークショップ」では、ペットボトルに小豆を入れ楽器を作りました。昨年は子どもたちが約310個作りしましたが、本年は約380個を作りました。グリーンカーテンの写真の掲示や、ゴーヤの苗を1世帯2株ずつ計300株の無料配布も実施しました。また、

東京ガスによる「食とエネルギーについて学ぼう」では、クイズや啓発物の配布も行われ、クール・ネット東京による「東京・エコムーブメント」では、エコな目標を立てると抽選でエコグッズが貰えるなどのイベントが行われました。皆さんも、日常の生活の中で無理なく行える『ちょっとしたエコなこと』を考え、実践してみたいかがでしょうか（麻生）



★食とエネルギーについて学ぼう★



★エコ楽器ワークショップ★

■「丸池公園」のご紹介

三鷹市の3つのふれあいの里の1つに丸池の里があります。2000年、丸池の里「わくわく村」が誕生して、今日まで子どもたちが自然に親しんでもらうように一年間通してイベントを行っています。仙川沿いの、勝淵神社のとなりで、雑木林あり、原っぱあり、池あり、そして少し離れて梅林もある自然いっぱいの里です。

5月には、梅もぎをして、梅酒を漬けました。手作り梅酒「里のしら梅」ができます。6月には、田植えが行われ、近隣の小学5年生240人が田植えを体験しました。都会育ちの子どもたちにとっては、米作りは、初めての貴重な体験で思い出に残ることと思います。このようなことのできる自然の場所があるということは、すばらしいことです。大人になっても、丸池の里で経験したことのすばらしさを、伝えて言ってほしいです。6月14日には、「まるいけツアー」がありました。7月5日には「竹のマイカップづくり」、10月には、「丸池里ひかり」という餅米が出来上がります。そして、「丸池わくわくまつり」とイベントがいっぱいです。

皆さんも、いつもと違った自然いっぱいの丸池の里のイベントに足を運んでみてはいかがでしょうか。（大平）



■野菜を使い切る工夫

この時期傷みやすい旬の野菜を使いきる工夫として、おススメなのが自家製ピクルスです。大きめのビンにカットした野菜をつめて調味液(酢、昆布だし、塩、ニンニク1片、たかのつめをひと煮立ちさせたもの)をそそぎ冷蔵庫に保存しておくとも2週間は保存できます。ニンジンや大根は固めにゆで、大根やきゅうりは塩をふって水分を少し抜いてから、セロリや玉ねぎを入れると風味も良くなります。カレーや肉料理の付け合わせに、スライスしてサラダや酢の物、スープに入れたり用途は幅広いです。

厚生労働省が健康増進のために1日350gの野菜を食べることを目標にしていますが、今現在どの年代においてもその量に達していない状況だそうです。時間の無い時でも、野菜ピクルスを作っておけば、買って来たお惣菜に合わせたり、刻んでピザ生地やタコスチップスにのせておつまみにしたりしても野菜不足解消になりますね。チーズ、タバスコや甘味等を使ってその時々でアレンジして自分流で楽しんでみてください。（入江）



■みなさんの「エコアイデア」を教えてください

みたか環境ひろば（本誌）ではみなさんから「エコアイデア」を募集することになりました。みなさんが行っている省エネ、節電、節水、リサイクル、生ゴミ対策、緑のカーテンなどを教えて下さい。ご自分でなく近所の方がやっている情報でも結構です。常時募集しますので、下記連絡先：三鷹市環境政策課・担当大島までご一報ください。

こちらで記事にして本誌に掲載させていただきます。ただし紙面の都合で掲載できない場合もあります。

「エコアイデア」とは環境に配慮した取組を言います。

(例) ①生ゴミで堆肥(本誌47号参照) ②ゴーヤで緑のカーテン ③公園、花壇の植物保全活動 ④ソーラー発電による外灯 ⑤植物に薬品・殺虫剤を使わないなどです。

編集後記

今年のエコミュージカルとエコイベントは、梅雨のさなかでしたが天候に恵まれ、来場者は693名と昨年の503名から大幅に増加しました。エコミュージカルでは、特に舞台上でエコ楽器を演奏する子どもたちの楽しそうな笑顔が印象に残りました。このようなイベントを通じて、少しでも多くの方々が環境について考え、日常生活の中でのエコな活動をするきっかけになれば幸いです。（入江）

※今回のみたか環境ひろばは、エコミュージカルとエコイベントの内容を含めるために、1日の発行ではなくなりました。ご了承ください。

環境掲示板

自然体験教室

「自然を感じ学ぼう！」

日時：8月19日(火曜日)

午前9時 都立野川公園 集合

午後0時 都立野川公園 解散

場所：都立野川公園

内容：ネイチャーゲームや木工製作

対象：市内在住、在学の小学生と

その保護者(保護者の参加が条件)

定員：30名程度

料金：無料

申込：はがきまたはメールで環境政策課へ

(詳細は市報7月6日号かHPで)

問合せ：環境政策課 内線2524

次回の発行は平成26年10月の予定です。

発行：みたか環境活動推進会議
(愛称 みんなの環境)

連絡先：三鷹市環境政策課

電話 0422-45-1151 内線2523・2524

E-mail:kankyo@city.mitaka.tokyo.jp

本誌は、市役所、市政窓口、図書館、コミセンや市のHPから入手できます。